

各校の成果と課題、「今後、力を入れて取り組む内容」

小学4年生

学校	教科	成果○と課題●	今後、力を入れて取り組む内容
川之江小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の読みが正しくできている。 ○ 条件を踏まえて文章を書くことができている。 ○ 説明文の内容を正しく読み取ることができている。 ● 3年生で学習した漢字の書き取りができている。 ● 情報を受け取り、説明することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3、4年生で学習した漢字を繰り返し練習させる。 ・ 文章を読むことに慣れるよう、音読練習に力を入れる。 ・ eライブラリ等を活用し、自分の苦手な分野を繰り返し練習する学習方法を身に付けさせる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な四則計算がよくできている。 ○ 整数の割り算の筆算や文章問題が正しく解くことができる。 ○ 折れ線グラフの意味を正しく読み取っている。 ● 分度器、コンパス、三角定規を正しく使うことと、それらを用いたの作図ができている。 ● 計算方法等を式や文章で説明することが苦手である。 ● 活用の正答率が低く、基礎と活用の正答率の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分度器やコンパスなどを使った作図の練習問題に取り組ませる。 ・ 学習内容の定着を図るためにレッツスタディーや家庭学習等で、既習事項を復習できるようにする。 ・ 基礎・基本の反復練習や応用問題への取組など、個に応じた学習を工夫する。
金生第一小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の読み書きの問題がよくできている。 ○ 中心となる言葉を見付けながら文章を要約できている。 ● 設問文が長いと、何を答えればいいのか、理解ができていない。 ● 理由や事例を挙げながら、説明したり伝えたりすることに課題が見られる。 ● 内容の中心を明確にして、3～4文程度の文章を書くことが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テストの記述問題の振り返りを行うことで、正しい答えを知り、どのように考えればよくなったのかを確認させる。 ・ 発表や話し合いの中で、理由を付けたり、事例を挙げたりする活動を多く取り上げ、自分の伝えたいことを適切に伝える学習を繰り返していく。 ・ 作文教材の中で、中心を明確にしながら書く指導を確実にを行い、要旨のはっきりした文章を書く学習を繰り返していく。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな数、小数、割り算の筆算などの基本的な計算の力が身に付いている。 ○ 分配法則を利用した計算の力が身に付いている。 ● 基準値を求めるテープ図の理解が不十分である。 ● 三角定規や分度器を使った作図の技能が十分に身に付いていない。 ● 計算の仕方を説明する際、示されている例文を生かし切れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープ図を使って、割合の復習を行い、数量の関係を理解することができるようにする。 ・ 週に1回程度、三角定規や分度器を使った作図の練習を行い、作図の手順を身に付け、技能の向上を図る。 ・ 例文を基に考えを示す問題に取り組ませ、提示された条件を生かした説明ができるようにする。
金生第二小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気持ちを表す語句の正答率が高い。 ○ 主語と述語、連体修飾語について理解している。 ● 相手に伝わるように、事例を挙げながら話す問題に課題がある。 ● 内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「はげみの時間」や国語科における言葉の学習単元で、更なる語彙力の定着を図る。 ・ 文章を書く際には、主語と述語や修飾語を意識して書くことを引き続き行う。 ・ 中心を明らかにして、書いたり話したりすることができるよう、話し合い活動や書く活動を行う。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ ある位までの概数の表し方を理解している。 ○ わり算の文章問題では、立式し、正しい答えを導く問題の正答率が高い。 ○ 垂直と平行の見つけ方を理解している。 ● 小数の問題に課題がある。 ● 平行四辺形の作図に課題がある。 ● 折れ線グラフの一目盛りの大きさを理解する問題に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「はげみの時間」や家庭学習での反復練習を行い、更なる基礎・基本の定着を図る。 ・ 基礎・基本の定着を図るとともに文章問題に触れる機会を増やす。 ・ 小数のしくみや概念の復習、位名などの復習を行う。 ・ 垂直・平行と四角形の復習を行い、平行四辺形の作図ができるよう練習する。 ・ グラフを読む問題の際には、一目盛りを意識してグラフが読めるよう努める。

上 分 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率が全国平均とほぼ同程度で良好である。 ○ 漢字の読み書きが定着している。 ○ 文章を読んで、内容や中心となる語句を正しく捉えている。 ○ 文章を書く問題では、条件に合わせながら自分の考えを表現できている。 ● 主語、述語、修飾語の理解についての問題に課題が見られた。 ● ことわざの意味を知り、正しく使う問題に課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝のスキルタイムを利用して主語、述語、修飾語などの文法的な問題に取り組む。 ・ ことわざ、慣用句などを話し言葉や文章に意識して使い、慣れ親しんでいく。 ・ 今後も、朝のスキルタイムで文章の読み取りの問題に取り組むことを続ける。 ・ 条件に合わせて文章を書く学習を、今後も続けていく。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率が全国平均とほぼ同程度で良好であった。 ○ 四則計算、グラフの読み取りなど基本的な技能が身に付いている。 ● 小数を使つての単位の換算に課題が見られた。 ● 180°をこえる角度の計算、作図など、図形に関する問題に課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形の基本的な性質の復習を行うとともに、作図などを取り入れた学習を行う。 ・ 様々な数量の単位について復習を行い、単位の表現についての問題に取り組む。
南 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4学年に配当されている漢字の読みができています。 ○ 文章をテーマに沿って、指定された形式で書くことができています。 ● 第3学年に配当されている漢字を正しく書くことができていない。 ● 説明文の内容を読み取ることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文に触れる機会を朝学習や宿題に取り入れ、どのように読み取るのかについて指導し、練習している。 ・ 第4学年の漢字だけでなく、これまでに習った漢字を繰り返し練習して定着を図る。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四則計算で()を用いた式の計算順序を理解している。 ○ 基礎的な問題は平均と同程度の力が付いている。 ● 角の性質や平面図形の性質の理解が十分にできていない。 ● 折れ線グラフを正しく読み取ることが苦手な児童が多い。 ● 示された考え方を基に、計算の仕方を説明することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ eライブラリ等を活用し、自分の苦手な分野を繰り返し練習したり、得意な分野は発展問題に取り組ませたりする。 ・ 垂直や平行と四角形の復習を行い、作図等ができるように練習する。 ・ 授業の中でどのように問題を解いたのかを自分の言葉で書いたり、説明したりする活動を多く取り入れるようにする。
川 滝 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習した漢字を、正しく読んだり書いたりしている。 ○ 説明文の内容や要点が正しく読み取れている。 ● 情報と情報の関係を理解し、理由や例などを挙げながら文章を書くことに課題がある。 ● 条件に従って文章を書くことが、十分身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二つの情報の関係を捉え、理由や例を挙げながら文章を書く練習をする。 ・ キーワードを用いて学習のまとめを書くことで、条件に従って文章を書く力を高める。 ・ ICTを活用し、意欲的に書く機会を設ける。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小数のしくみを正しく理解している。 ○ 折れ線グラフや角の大きさが正しく読み取れている。 ● 計算のきまりを使って計算することが十分身に付いていない。 ● 数量の関係を、割合を使って説明することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算のきまりを理解して解答できるよう、小テストなどで繰り返し計算練習をする。 ・ 文章問題では、題意を捉えて立式し、説明する練習を行う。 ・ 割合や小数などの活用問題を解く練習をする。
妻 鳥 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を正しく読んだり書いたりすること ○ 文と文との接続の関係を理解し、文章の内容を捉えること ● 調べて分かったことを発表すること ● 条件に合うように文章を書くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の基礎・基本がさらに定着するように、家庭学習やスキル学習などを通して繰り返し学習を行う。 ・ 今後も、文と文の接続に着目して文章を読み取っていく経験を積み重ねていく。 ・ 相手に伝わるように事例を挙げながら話すことや、必要な情報を選び理由や事例を挙げて話す活動を取り入れていく。 ・ キーワードを入れたり字数を制限したりするなどして、書いて表現する活動を積み重ねる。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ わり算の筆算や文章問題を解くためのわり算の立式 ○ 分度器の使い方 ● 大きな数(億と兆) ● 垂直と平行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も練習問題を数多くこなし、基礎的・基本的な計算力の定着を図っていく。 ・ 分度器やコンパスなどを用いる問題に定期的に取り組んでいく。 ・ 数の仕組みや数の相対的な見方の復習を行うとともに、小数や分数の数の仕組みとも関連させていけるようにする。 ・ 実際に描いたり読み取ったりする練習を続けることで図形や作図に対する力を付ける。

松柏小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習った漢字を正しく読んだり、書いたりすることができている。 ○ 物語の登場人物の気持ちを叙述を基に捉えることができている。 ● 段落の役割を理解し、構成を考えて文章を書くことが苦手である。 ● 指定された長さで、条件に合った文章を書くことが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モジュールでの漢字練習で漢字の読み書きが定着しているため、今後も継続していく。 ・ 落ち着いて読書ができる時間を今後も取るようにして、教室での読書環境も整えていく。 ・ 文章を書くときに、「初め」「中」「終わり」を意識して書くことを意識させ、繰り返し練習していく。 ・ 条件を決め、指定された字数で文章にまとめる学習を取り入れていく。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 折れ線グラフを正しく読み取ることができている。 ○ 四則混合で（ ）を用いた式の計算の順序を理解することができている。 ● 図形を作図することが苦手である。 ● 指定された位までの概数にして表すことが苦手であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モジュールの時間にタブレット学習で、個別に苦手な所を自分のペースで復習できる時間を継続して取っていく。 ・ 分度器やコンパスを使った作図の復習をしていく。 ・ 概数の表し方について復習していく。
三島小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年に配当されている漢字を正しく読む力が付いている。 ○ 物語の読み取りでは、登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えることができている。 ● 会話文を読んで、叙述を基に大切なことを引用して話し方を考えることに課題が見られた。 ● 文章を書く活動では、条件に合った文を書くことに課題があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキルタイムでは、フォローアップシートを活用し、漢字の書き取りや音訓読みの力を高め、語彙を増やすことができるようにする。 ・ 様々な種類の文章の内容を読み取ることを通して、伝えたいことや、それを支える理由を叙述を基に捉える力を身に付けていく。 ・ 自分の考えとなぜそのように考えたのかその理由を伝え合う活動を通して、文章に書き表す力が身に付くように努める。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円の半径を求めることや、コンパスの使い方を正しく理解していた。 ○ かけ算やわり算の基礎的な計算問題がよくできていた。 ● かけ算やわり算の文章題においては、解き方を図で表したり、様々な説明の仕方で表したりする活用問題で課題が見られた。 ● 道のりを求める問題では、図から必要な距離を使って比較する活用問題の正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドリル学習やミニテストを継続して行い、積み重ねることで基礎的な計算の定着を進めていく。 ・ 計算の仕方について自分の言葉でまとめたり、図を活用したり、様々な説明ができるような学び合いの場を取り入れて、数学的なものの考え方を身に付くように努める。 ・ 自分で課題を見付け、自主学習で間違った問題を解き直すなど、自ら学ぶ姿勢を育てていく。
中曽根小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を正しく読んだり、書いたりすることができている。 ○ 文章の内容の大体を捉え、物語文では登場人物の気持ちについて、叙述を基に考えることができている。 ● 教科の正答率は市平均を上回っているが、全国平均を若干下回っている。 ● 事実や自分の考えを書く問題の無回答率が高い。目的を意識したり、文字数や段落などの条件に即したりして文章を書くことに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の家庭学習などで基礎的・基本的な内容の復習を継続して行い、小テストで定着を図る。 ・ 授業で積極的に図書室の本を活用したり、週末に本を持ち帰って読書ができるようにしたりする。学級内で読んだ本を共有するなど、様々な種類の本に触れられるようにすることで、読解力や表現力を高める。 ・ 全ての教科において書く活動に力を入れ、文量や語句を指定して自分の考えをまとめる活動を取り入れる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算のきまりを理解し、四則混合の計算問題を解くことができている。 ● 教科の正答率は市平均と同程度であり、全国平均を下回っている。 ● 小数の仕組みの理解や図形の作図に課題が見られる。 ● 計算の仕方や数量の関係を説明する問題の無回答率が高く、自分の言葉で説明することに難しさを感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の家庭学習などで基礎的・基本的な内容の復習を継続して行い、小テストで定着を図る。 ・ 学年末のおさらいの際に、小数の数量関係や図形の作図に関する問題を重点的に行う。 ・ 授業において、計算の仕方等を自分の言葉でまとめたり、説明し合ったりする活動に力を入れる。初めはかっこ抜きにするなどしてスモールステップを設け、理解度に合わせてどの子も抵抗なく取り組めるようにする。

中之庄小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学年で学習している漢字の読みは概ね定着している。 ○ 記述問題では、自分の感想を書くことができています。 ● 主語や述語、ことわざ、漢字辞典の使い方など国語に関する知識が十分身に付いていない。 ● 記述問題では、自分の感想を書けているが、条件に従って、内容をまとめることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日1問漢字や小テストなど、現在の取り組みを継続し、漢字の読みだけでなく、書きも定着を図る。 ・ 朝ドリルやChromebook を使ったドリル学習を反復して行い、国語に関する知識を定着させる。 ・ 各教科において、字数やキーワード、段落構成などの条件を提示して、文章を書く活動を取り入れ、書くことに対する抵抗をなくす手立てを工夫する。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな数や小数などの数の仕組みを概ね理解している。 ● 垂直・平行に関する理解が十分でないため、図形を作図することができていない。 ● わり算の筆算や計算のきまりに従って計算する問題では、正確に計算ができていない。 ● 記述問題では、条件に従って、説明することができていない。また、無答が一定数見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝ドリルやChromebook を使ったドリル学習を反復して行い、基本的な計算の定着を図る。 ・ 授業での操作活動を充実させたり、ICT機器を効果的に活用したりすることで、実感を伴った算数の授業を展開する。 ・ 個別学習や放課後学習を充実させ、個に応じた指導に努める。 ・ 文章問題の解き方や考え方について、自分の言葉で説明したり、書いたりする活動を多く取り入れることで、書くことに対する抵抗をなくす。
寒川小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4年生の漢字の読みがよくできています。 ○ 司会の役割として、意見の相違点に着目して聞き取れています。 ○ 説明文の内容を読み取り、中心となる語や文を見つけて要約することができています。 ● 3年生の漢字を書くこと、漢字辞典の使い方を理解することに課題が見られました。 ● 作文について、理由や事例を挙げて文章をまとめること、事実と自分の考えを両方取り入れて文章を書くことに課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートやノートの漢字について個別の指導を継続するとともに、漢字の復習プリント等に繰り返し取り組みます。 ・ 漢字辞典を活用する機会を設け、使い方に慣れるようにします。 ・ 日記の宿題や、各教科の振り返りなどを通して、事実だけでなく、自分の考えや理由を挙げて文章を書く機会を増やします。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ わり算の筆算や角の読み取り、大きい数の表し方等の基礎基本が定着していました。 ● 概数に対応する数の範囲や、基準量を求める割合の理解が十分ではありませんでした。 ● 四角形の定義・性質を正しく理解し作図する力に課題が見られました。 ● 計算のきまりについて、式を読み、具体的な場面や思考の筋道を考える力に課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習や授業の隙間時間に、復習プリントをしたり、ドリル型ソフトウェアを活用したりして、学習内容を定着させていきます。 ・ 授業中に、個別指導や学び合いタイムを取り入れ、主体的に学ぶ姿勢を身に付けていきます。
豊岡小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を正しく書いたり読んだりすること。 ○ 音声を聞き取り、正しく内容を理解すること。 ● 制限時間内に問題を解くこと。(テストの後半に無回答が多い。) ● ことわざや主語・述語の関係を正しく理解すること。 ● 漢字辞典で正しく漢字を検索すること。 ● 文章を書くこと。特に、情報を整理し理由を挙げながら書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な文章に触れ、読み取ったり要約したりする活動を取り入れる。その際には、文字数や使用ワード、制限時間などの条件を指定するようにする。 ・ ことわざや慣用句などの言語事項の復習をする。 ・ 国語辞典や漢字辞典の使い方の復習をする。 ・ 漢字の書き取り練習を継続して行っていく。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な計算をすること。 ○ 角の大きさを計算して求めること。 ● たし算、ひき算、かけ算、わり算が混じっていたり、かっこを使ったりする計算を正しくすること。 ● 図形の特徴を正しく理解すること。 ● 図形を正しく作図すること。 ● 数値を正しくグラフに表すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容の総復習を行う。特に、小数、概数、図形の学習に力を入れたい。 ・ 学習内容を効率的に復習できるように、タブレットを用いたドリル学習を活用していく。 ・ 放課後に補充学習を行うなどして、個に合わせた指導を充実させ、学力の底上げを図る。また、児童同士で教え合うなど、学び合う場を意識的に設定する。

新宮小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、全国、市平均を上回っている。 ○ 既習漢字の読み書きが正確にできている。 ● 話の内容を正しく聞き取り、答えることが十分とは言えない。 ● 文章において、どの言葉が主語、述語になるのか十分に理解しているとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復習プリントや学習ソフト等を活用して、主語や述語、修飾語といった言葉の学習の復習を行う。 ・ 学習活動に「聞く」「話す」活動を積極的に取り入れることで、聞いて考える力を養う。 ・ 説明文を読み、段落相互の関係や、筆者の考え等を読み取る活動を取り入れる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、全国、市平均を上回っている。 ○ 億や兆といった大きい数の表し方を正しく理解できている。 ● 平行四辺形やひし形の作図が十分とは言えない。 ● 数の相対的な大きさを使って、工夫して計算することに課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的・基礎的な計算は、時間を意識しながらも正確に答えを求めることができるように練習問題に取り組んでいく。 ・ 十分にできていない内容については、復習プリントや学習ソフト等を活用していく。多くの問題に取り組む、内容の定着・苦手の克服ができるようにする。
長津小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4学年で学ぶ漢字の読みが正しく理解できている。 ○ 文と文をつなぐ、接続語について理解することができている。 ● 事実を基にして、自分の考えを書くことが苦手である。 ● 説明文や物語文において、中心となる文章を捉えたり、段落相互の関係や内容を捉えたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の読み書きや登場人物の気持ちの読み取りなど、漢字練習や読書指導を継続する。 ・ 行事や総合的な学習の時間等で、感想などの文章を書くときに、「○○だと分かった。」ではなく、このことを知って自分がどう感じたのかを書く練習をする。 ・ 説明文の学習等において、文章における段落相互の関わりを考え、段落の構成が理解できるように指導する。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分度器の使い方を理解し、角度を正しく測ったり、計算で角度を求めたりすることができている。 ○ 乗法や除法、()内の計算は先に計算を行うなどのきまりを理解し、正しく計算することができる。 ● 垂直・平行な直線の作図や、その応用で平行四辺形等を作図することに課題がある。 ● 折れ線グラフを正しく読み取ることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドリル学習を継続し、理解が不十分な内容の復習を行うことで、基礎基本の定着を図る。 ・ クロームブックを活用したり具体物の操作をしたりすることで、視覚的に理解できるように支援していく。 ・ 5年生に向けて、苦手分野について再度説明を行い、「分かった」「できた」という実感を持って学習に取り組めるようにする。
小富士小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4年生で学習した漢字を読む問題は正答率がかなり高い。 ○ 物語の内容を読み取る問題で、登場人物の行動や気持ちについて叙述を基に捉える問題は正答率が高い。 ● 3年生で学習した漢字を書く問題3問中2問が正答率が低かった。 ● 取材相手の話を一つ以上取り上げ（事実）、その話に対する自分の感想（考え）を書く問題では、正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字力を定着させるには、普段から漢を使って書く習慣を付ける必要がある。ノートや計画帳などを書く際にも、漢字を意識して使うよう指導を続ける。 ・ 「書く」ことは、国語の総合的な力が要求される。朝の会の1分間スピーチ後、日直が伝えたかった事（事実）、それについての感想（考え）を短文で書く活動を取り入れたい。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ わり算や小数の計算、簡単な場合についての割合などの問題は、正答率が高い。 ○ 折れ線グラフの縦軸の1目盛りの大きさを理解し、正しく読み取る問題は正答率が高い。 ● 全体的に学力差が大きい。 ● 三角定規を組み合わせてできる角の大きさを求める問題や、平行四辺形の作図、コンパスを用いてひし形の作図をする問題は正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニテストなどドリル学習を行って、基礎・基本の定着を図る。 ・ 既習事項である垂直や平行の関係をおさらいし、垂直、平行、そして、その性質を利用したの図形の作図ができるよう復習し、定着させる。

北小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の読み方を十分に理解することができている。 ○ 指定された長さや文字数で言葉を書くことができている。 ● 既習の漢字の書き取りに課題が見られる。 ● 主語、述語、修飾語の関係の理解が不十分である。 ● 物語文、説明文ともに読み取りに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字のいろいろな読み方を知り、それを用いて文章が書けるようにしていく。 ・ 今後も、「この」「それ」などの指示語に注目させ問題を解かせていく。 ・ 毎日の宿題をはじめ、授業の中でも漢字を書き取る練習を継続していく。 ・ 主語、述語、修飾語の意味を理解し、短文や感想が書けるようにしていく。 ・ 問題文を読んでから解答するよう再度声を掛け、手掛かりとなる部分に線を引きながら解答できるようにしていく。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 割り算の筆算(余りのあるものも含む)の仕方を理解することができている。 ○ 小数の足し算や引き算の計算が定着している。 ● 角度を測る問題、特に180度を超える大きい角度を測ったり、作図したりすることに課題が見られる。 ● 概数での表し方に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九九を素早く用いて問題に取り組み、答えの確かめまで自分でできるようにしていく。 ・ 位を揃えて計算し、小数点の付け忘れがないよう意識しながら、引き続き取り組んでいく。 ・ 分度器の当て方を確認し、補助線を引きながら、角を二つに分けて考えられるようにしていく。 ・ 「上から2けた」「千の位まで」という指示された言葉の隣の位の数に印を付け、四捨五入する箇所を明確にしながらか問題に取り組んでいく。
土居小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な漢字の読み書きについての正答率が高い。 ○ 説明文の内容を正確に読み取り、要約するための中心となる語や文を見付け出すことができている。 ● 指定された条件に従って、必要な事実と感想を文章に書く問題では無回答率が高い。 ● 聞き取り問題では、話し手が伝えたいことの中心を正確に聞き取ることについての正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の授業の中で書く機会を設け、書くことに対する苦手意識を軽減し、書くことに慣れさせる。 ・ 単に感想や自分の考えを書くのではなく、伝えたい事柄について事実と感想に分けて読み手に伝わるように書く練習に取り組む。 ・ 普段から話し手に体を向け、耳だけでなく目でも話を聴くことを徹底させる。 ・ 話し手が話した内容について、概要を意識しながら聞き、そのことについて自分の言葉で発表する。 ・ 漢字の読み書きについては家庭学習も含め今後も継続して指導し、確実な定着を図る。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3桁÷2桁の大きな数のわり算について、正しく理解できている。 ○ 180度を超える大きさの角の求め方を計算で求めることができている。 ● 概数に対応する数の範囲を以上や未満などの言葉を用いて正確に表すことについての正答率が低い。 ● 四則混合の計算の決まりを正しく理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上、以下、未満などの言葉の意味を覚えることや、正しい使い方をするための復習を定期的に行う。 ・ 四則混合の計算の決まりや()を用いた計算の決まりを復習し、問題を解いて定着を図る。 ・ 基礎・基本の定着を図るため、スキルタイムや授業の導入等の時間を活用して、学びの時間を確保する。 ・ 基礎的・基本的な計算については、今後もドリル・eライブラリ等を活用し、確実な定着を図る。
関川小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4学年配当漢字の書き取りが定着している。 ○ 自分の考えを書く問題では、内容の中心を明確にし、事実を分かりやすく伝える文章を書く力が身に付いている。 ● 既習の漢字を正確に書くことや国語辞典の使い方に課題がある。 ● 物語文では、登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に捉えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字テストを定期的実施し、定着を図る。熟語や例文を用いて覚えられるようにする。 ・ 読書のジャンルを広げたり、新聞を読んだりする機会を持つ。読むだけではなく、要約や感想を書く活動も適宜行う。 ・ 語句を調べる際に、国語辞典を活用し、使い方に慣れる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に基礎的な問題ができている。特に、大きな数と概数の表し方、計算のきまりがよく定着している。 ● 垂直と平行と四角形において、垂直な線を見付けたり、作図をしたりする問題で苦手傾向が見られる。 ● 示された考えを基に、数の相対的な大きさを使って、小数を整数に直して処理する方法を記述で説明することに課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の苦手な分野を把握させ、基礎問題の反復練習を行ってから応用問題へと発展させるような課題に取り組ませる。 ・ 問題文を読み、文章から分かること、問われていることに線を引くなどして、問題の整理ができるようにする。 ・ 「まず」「次に」「最後に」という言葉を使って、問題の解き方を言葉と式で説明する場を増やす。